

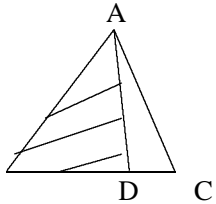
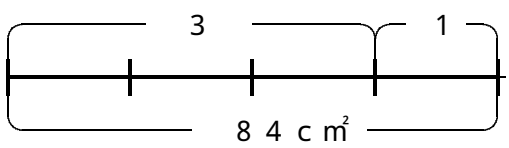
比については、比較的良好に理解できた。発展問題としてこれまで算数を学んできた既習事項を活用していろいろな考えを導きださせたいと考えた。そこで、発展問題で少し難解な問題に挑戦させた。

第6学年 算数科学習指導案

平成19年12月13日(木)

指導者 教務主任

1. 単元名 比
2. 目標
  - ・比の意味や表し方について理解する。
  - ・比の相等について理解し、比の性質を活用して問題を解くことができる。
3. 全体計画(6/6時間)
  - 比の意味とその表し方 1 比の表し方のきまりと比 1 比の相等関係 1
  - 比の利用 1 単元のまとめ 1 発展問題 1 本時(6/6)
5. 本時の活動(学習の場 6年教室)
  - (1) ねらい 比の意味を理解し、それを用いて2つの量の割合を表すことができる。
  - (2) 学習活動

活動と予想される子どもの姿	子どもの学びを支えるために
<p>1. 本時の課題を把握する。                      「三角形ABCの面積は、<math>84\text{cm}^2</math>です。                      BD:DCが3:1であるとき三角形ABDの面積を求めましょう。」</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>2. いろいろな考えで答えを求めることができる。                      三角形ABD + 三角形ADC = <math>84</math>                      言葉の式にして考える                      三角形ABD : 三角形ADC = 3 : 1                      図を書いて考える</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>式・答え  <math>84 \div 4 = 21</math>  <math>21 \times 3 = 63</math> 答え(<math>63\text{cm}^2</math>)</p> <p>3. グループで話し合いから、いろいろな考えを全体で練り合う。                      ・疑問点や相違点、類似点 ・よかった点                      本時の学習を振り返る。                      ・今日の学習を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのくらいの面積が見当をつけさせる。</li> <li>・課題をイメージできるように絵や図などを書いて考えるように指示する。</li> <li>・理解の見通しが立たない場合は、ヒントを与えたりヒントカードで考えたりできるようにする。</li> </ul> <p>言葉での式に着目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの面積の合計は84であることを確認させる。</li> </ul> <p>線分図にする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3:1ということは、目盛りをいくつとればよいか注目させる。</li> </ul>

